

一般質問

川下
議員

○松浦中央病院の現状について

質 当病院は、誘致に向けた市民による決起大会が開催されるなど期待の大きい中で昨年11月に開院した。それから約半年が過ぎ市民の声もさまざまな聞かれるようになった。その中で外来の新規患者受け付けができない診療科目があるとのことだが、市は把握しているか。

健康ほけん課長 皮膚科について、新規患者を受け付けていないとのこととです。

質 いわゆる契約上のものであるがそれは医師不足に起因している。市としても医師確保について努力すべきではないか。

市長 開院前、長崎大学、佐賀大学にJCHOの役員の方と医師派遣の要請を行っていますが、現実として厳しい状況が続いています。開院後は、医師確保のために佐賀大学に対する奨学寄付というものを行っており、その結果耳鼻科の診療開始につながっています。

質 病床の確保についても地元自治体からの強い要望が前提であり、今後当病院および地元医師会との連携の強化が必要であると考えます。

市長 増床には、病院開設時と同様

に医師会のご理解やご協力が必要であり、クリアすべき課題もあります。JCHOと連携を密にして増床に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

○安全な避難所運営の取り組みについて

質 昨年12月一般質問で取り上げた自治公民館の防災面強化に対する助成制度の新設についてはどのようになっているか。

防災課長 将来にわたって財源を確保し安定的な制度とするためにも、まずは国、県への要望活動を行うべきと判断し、長崎県市長会議において、「自治公民館等の避難所整備に係る財政支援制度の創設について」として議案を提案し、国および県への提言議案として承認されました。その後、長崎県市長会より国、県へそれぞれ提言書が提出されたところとです。

質 国、県への働き掛けはぜひ進めてほしい。その一方で今年も台風接近の可能性はある。まずは単独で実施することはできないか。

市長 地域住民が協力連携し主体的に活動する自主防災組織を市内全域に組織化することが必要となつていきますので、そのための奨励策の一つとして、市単独による補助金の制度に係る補助要件などの具体的な検討を行っていききたいと考えています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

〔議案〕令和3年度松浦市一般会計予算（第2号）（関係分）

（歳入）市の収支のうち、収入に当たる歳入額の補正が1億8892万3千円で可決されました。

主な構成として、国庫支出金9445万円（50・0％）、県からの支出金が906万2千円（4・8％）、市の貯金に当たる基金からの繰入金3587万円（19・0％）、諸収入（雑入）が374万1千円（2・0％）、市の借金に当たる市債が約4580万円（24・2％）となっています。

（歳出）行政ICT化推進事業の備品購入費として726万7千円（タブレット、アクセスポイント設置に係る機器等）、行政テレワーク環境整備事業の文書管理システム導入費用1844万1千円（システム導入業務委託料・システム使用料）が計上されました。これにより庁内の通信環境が整備され、テレワークやバーレス化が進むことにより、更なる住民サービスの向上が図られます。

鷹島支所の改修事業として、測量調査設計等委託料288万円、施設整備工事費2939万円が計上されました。約20年ぶりの大規模な改修により、執務環境が改善され、市民の皆さんにも安心安全にご利用いただけるようになります。

〔議案〕松浦市手数料条例の一部改正について

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用などに関する法律の一部改正に伴い条例の一部を改正するためのものであり、審議し、可決しました。

〔議案〕財産の取得について

令和3年度緊急消防援助隊設備整備に伴い、消防ポンプ車1台を取得することを審議し、可決しました。

